

「港湾を兵站基地にするな！」  
「港湾労働者と戦争を考える」  
「被爆79年」1945.8.6広島、8.9長崎  
2024.8.7首相9条改憲へ向け暴走!

1945年(昭和20年)8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が投下され、日本は世界唯一の被爆国となった。  
この惨禍を踏まえ、被爆79年となる今日、広島・長崎のみならず世界的に非核の世界へ向けた様々な取り組みが展開されている。8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が投下された。日本は世界唯一の被爆国となった。この惨禍を踏まえ、被爆79年となる今日、広島・長崎のみならず世界的に非核の世界へ向けた様々な取り組みが展開されている。

リレー随筆

「百段怪談？」

皆様お久しぶりです。教宣委員の古澤です。2月号以来の登場ですがいかがお過ごしでしょうか。今回の随筆は、回顧録ですが今春に訪れた場所を、ご紹介したいと思います。  
「百段怪談」と書きました。夏風物詩「怪談」と「階段」をテーマに開催された。東京は目黒区にあります。この「雅叙園東京」の前



組みを、世界唯一の被爆国であり且つ平和憲法を堅持するうえで世界に先駆けて真つ先に実行しなければならぬ責務を要すると確信する。  
しかし、岸田総裁は8・6広島と8・9長崎の平和祈念式典を「縫うように」して8月7日、自民党本部で開催された憲法改正実現本部全体会合の席で憲法に自衛隊を明記すべき等々の平和憲法9条改憲に向けた訴えを行ったのである。この背景には日米同盟の強化を行うことで日本と米

身は料亭であり、日本初といわれる総合結婚式場として。その名残は百段階段にも表れており、部屋の一つ一つの装飾が豪華絢爛なであります。一説によると『二度と同じものを創ることができません。今回私が訪れた時にはちょうど「大正モダン」をテーマに開催された。この「雅叙園東京」の前世界大戦中に海軍の病院として使われた建物であることから、空襲を逃れる事が出来たのではと語られています(戦時下において赤十字の旗を掲げている建物には、攻撃してはならないと戦時国際法で決められている)。  
さて、ロビーを抜けて百段階段へのエレベーターの前へくると、あれまビックリ「ここは竜宮城か？」と言わんばかりの装飾。黒漆で塗られたエレベーター内には虹色に輝く牡丹や金色に輝く唐獅子が左右に描かれています。

ドキドキしながら階段の前へ足を運び一段一段上っていきます。「まあ百段なんて楽勝だろう」と思っていました。ダイエットします(笑) 頂上までには合計7つの部屋があり、部屋ごとに名前が付けられ「漁樵の間」「草丘の間」など、部屋のテーマに合わせた装飾がなされている。やっこの思いで

性者にも加害者にも決して。よって、前号でも述べた念信念を持つ各友誼団体と共に取り組みを強化する極めて重要な時に差し迫って

いよいよ、協定書集の最後の項目、58条15項、16項、次いで付属資料の3つの議事確認を讀んでいきます。  
産別協定58条15項は、東日本大震災・福島第一原発事故に伴う確認書になります。「3・11/東北大地震」は、地震と津波、何よりも原発の怖さを痛感した惨事でした。  
震災対策、とりわけ原発事故への対策が急がれました。放射線が汚染した中古車や建物が輸出・移出入されるため、港湾労働者の安全確保措置が不可欠でした。輸出・移出入される中古車や建物の放射線量を検査し、検定労働者が行い、0.3μSv以上の放射線量が検出された場合は、船積みを行わず、この水準以下のもは検査済証明を発行する取り組みの確認書です。また、放射線で汚染された瓦礫の処理についても、国交省の定め

港湾産別協定⑤⑥  
産別協定58条15・16項

その第1項が、「石綿対策関係補助金制度の概要」です。これは、石綿被害が港湾労働者OBに及び、労使が対策委員を設けて救済制度を検討し、日港協の制度として確認したものです。石綿が発癌性物質であることが科学的に証明され、1970年代には使用禁止が国際的な常識となり、日本では使用禁止措置はおろか、安全対策もない中で、輸出入される石綿のほぼ全量を港湾労働者が取り扱ってき

長くなりましたが、機会がありましたら一度日本の技術と英知がたくさん詰まった「百段階段」に、足を運んでみてはいかがでしょうか。 次のリレー随筆は石渡委員です。  
「リレー随筆」